

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成25年10月3日 (2013.10.3)

【公開番号】特開2012-215632(P2012-215632A)

【公開日】平成24年11月8日 (2012.11.8)

【年通号数】公開・登録公報2012-046

【出願番号】特願2011-79298(P2011-79298)

【国際特許分類】

G 0 2 B 7/02 (2006.01)

G 0 2 B 7/08 (2006.01)

【 F I 】

G 0 2 B 7/02 E

G 0 2 B 7/08 C

【手続補正書】

【提出日】平成25年8月21日 (2013.8.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 2】

光学レンズを含む光学部材を保持した固定筒の外周部に、その周回り方向に沿ってタッチセンサを設け、

前記タッチセンサの出力信号に基づいて、前記タッチセンサに同時にタッチしている指の本数を検出し、

前記固定筒に保持されている光学部材を制御する複数の機能のうちから、検出された前記同時にタッチしている指の本数に応じた機能を選択し、その選択した機能を実行することを特徴とする操作制御方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 3】

光学レンズを含む光学部材を保持した固定筒の外周部に、その周回り方向に沿ってタッチセンサを設け、

前記タッチセンサの出力信号に基づいて、前記タッチセンサにタッチしている指の種類を検出し、

前記固定筒に保持されている光学部材を制御する複数の機能のうちから、検出された前記タッチしている指の種類に応じた機能を選択し、その選択した機能を実行することを特徴とする操作制御方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 4】

光学レンズを含む光学部材を保持した固定筒の外周部に、その周回り方向に沿ってタッ

チセンサを設け、

前記タッチセンサの出力信号に基づいて、前記タッチセンサにタッチした指が摺動したか否か、及び前記指の摺動方向が前記固定筒の周回り方向であるか光軸方向であるか否かを検出し、

前記固定筒に保持されている光学部材を制御する複数の機能のうちから、検出された前記指の摺動方向に対応する機能を選択し、その選択した機能を実行することを特徴とする操作制御方法。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1 5】

光学レンズを含む光学部材を保持した固定筒の外周部に、その周回り方向に沿ってタッチセンサを設け、

前記タッチセンサを光軸方向に複数の領域に区切り、前記タッチセンサの出力信号に基づいて、前記タッチセンサの複数の領域のうちいずれの領域に指でタッチされたかを検出し、

前記固定筒に保持されている光学部材を制御する複数の機能のうちから、検出された前記タッチされた領域に対応する機能を選択し、その選択した機能を実行することを特徴とする操作制御方法。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 1】

また、本発明は、光学レンズを含む光学部材を保持した固定筒の外周部に、その周回り方向に沿ってタッチセンサを設け、前記タッチセンサの出力信号に基づいて、前記タッチセンサに同時にタッチしている指の本数を検出し、前記固定筒に保持されている光学部材を制御する複数の機能のうちから、検出された前記同時にタッチしている指の本数に応じた機能を選択し、その選択した機能を実行することを特徴とする操作制御方法を提供する。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 2】

また、本発明は、光学レンズを含む光学部材を保持した固定筒の外周部に、その周回り方向に沿ってタッチセンサを設け、前記タッチセンサの出力信号に基づいて、前記タッチセンサにタッチしている指の種類を検出し、前記固定筒に保持されている光学部材を制御する複数の機能のうちから、検出された前記タッチしている指の種類に応じた機能を選択し、その選択した機能を実行することを特徴とする操作制御方法を提供する。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 3】

また、本発明は、光学レンズを含む光学部材を保持した固定筒の外周部に、その周回り方向に沿ってタッチセンサを設け、前記タッチセンサの出力信号に基づいて、前記タッチセンサにタッチした指が摺動したか否か、及び前記指の摺動方向が前記固定筒の周回り方向であるか光軸方向であるか否かを検出し、前記固定筒に保持されている光学部材を制御する複数の機能のうちから、検出された前記指の摺動方向に対応する機能を選択し、その選択した機能を実行することを特徴とする操作制御方法を提供する。

また、本発明は、光学レンズを含む光学部材を保持した固定筒の外周部に、その周回り方向に沿ってタッチセンサを設け、前記タッチセンサを光軸方向に複数の領域に区切り、前記タッチセンサの出力信号に基づいて、前記タッチセンサの複数の領域のうちいずれの領域に指でタッチされたかを検出し、前記固定筒に保持されている光学部材を制御する複数の機能のうちから、検出された前記タッチされた領域に対応する機能を選択し、その選択した機能を実行することを特徴とする操作制御方法を提供する。